

低コスト棚による根域制限改良仕立てぶどう栽培の開始

対象者 甲賀市信楽町 S氏

【普及活動のねらい】

S氏は、ぶどう直売経営を取り入れたセカンドライフを目指し、平成30年度に農業大学校就農科で果樹の栽培と経営について学びました。就農科在学中に、0.9a分の大苗36本をバック栽培で育苗、主枝長4mの大苗を完成させました。平成30年度末には、農業技術振興センター開発の低コスト棚約20aを完成し、大苗育苗した苗木の植え付けを完了されました。当課では、農業大学校在学中から、品種選定、ほ場準備、棚建設など栽培開始指導を行い、今年度は、大苗育苗した苗木が初結実を迎えることから結実管理技術の習得を目標に指導を行いました。

【普及活動の内容】

栽培開始の指導

品種選定にあたっては、直売経営を目指すという意向から、果皮色が赤・黒・緑とバリエーションを持たせて消費者に人気の品種を選びました。収穫時期についても、8月上旬から9月までリレー販売できるように、サニールージュ、竜宝、藤稔、クインニーナ、シャインマスカットとしました。栽培方式については、水田転換田での栽培となるため樹勢の制御が容易な根域制限栽培とし、身体への負担が少ない改良仕立てとしました。また、初期投資を抑えるために低コスト棚を導入し設計施工を指導しました。

結実管理指導

ジベレリン処理や摘粒など実施時期を逃さないために、事前に作業予定の作成を指導しました。作業実施にあたっては生育期間中の気候による遅速や、降雨の状況を判断しながら作業するように指導したところです。また、新梢誘引や摘粒作業などコツを必要とする作業は現場で実技指導を行いながら技術習得を促進しました。

【普及活動の成果】

本人からは、結実管理技術のスケジュール感と基礎的な技術は身についたとの意見が聞かれました。収穫物については、8月上旬のサニールージュと竜宝は、主に近親者への挨拶用に消費し、8月中旬以降の藤稔（黒）、クインニーナ（赤）、シャインマスカット（緑）は、JA直売所や3色セットにして宅配便で販売しました。宅配販売では、購入した消費者から再度の注文が複数届き、自信に繋がりました。



根域制限栽培の植穴準備



低コスト棚建設指導



JA直売所で
クインニーナを販売



カードを添えて
3色セット宅配便販売